

鳴しぎ 立たつ 庵あん

江戸時代から続く俳諧道場「鳴立庵」。
大磯の文化施設として親しまれてきた歴史とは？
鳴立庵ゆかりの資料を一挙公開します！

2019年10月12日(土)

12月8日(日)

9:00~17:00 ※入館は16:30まで

休館日：10/15、21、28、11/1、5、11、18、25、12/1、2

入館無料

展示解説：10/13、11/10、24 14:00~

会場：大磯町郷土資料館 企画展示室

〒255-0005 神奈川県中郡大磯町西小磯 446-1
県立大磯城山公園内 tel 0463-61-4700
<http://www.town.oiso.kanagawa.jp/oisomuseum/>

■電車■ JR東海道線大磯駅 徒歩約30分

■バス■大磯駅～城山公園前 徒歩約5分

■車■小田原厚木道路 大磯インター約5分/
西湘バイパス 大磯西インター約2分



大磯町郷土資料館では、現在、鳴立庵に伝わった書画を中心とした鳴立庵関係資料を保管しています。本企画展では、鳴立庵に伝わった資料のほか、当館が収集してきた鳴立庵に関する資料も含め、所蔵する鳴立庵の資料を一挙、公開します。

心なき身にも哀はしられけり 鳴立の 秋の夕暮
西行 『山家集』より



9世庵主遠藤雉啄の書
雉啄は、江戸時代後期（文政～天保期）に在庵。3世庵主白井鳥酔から続く俳系に属す。

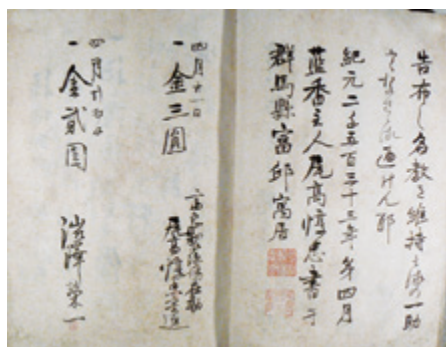
■ 展示解説 ■

10月13日(日)

11月10日(日)

11月24日(日)

いずれも14:00から、30分程度を予定しています。
郷土資料館企画展示室に、お集まりください。



明治6年（1873）「鳴立庵改修寄進帳」
11世庵主大澤寿道の時につくられた寄進帳。江戸時代から続く鳴立庵は、歴代庵主がその維持に力を尽くしたことによって、今がある。寄進者に、渋沢栄一の名がある。



18世庵主鈴木芳如の人形
昭和18年（1943）に入庵した芳如は、積極的に鳴立庵の歴史を振り返り、戦中戦後期の鳴立庵を支えた。

■ 展示構成 ■

- 1 鳴立庵のはじまり - 崇雪・大淀三千風
- 2 中興の祖 - 白井鳥酔
- 3 鳴立庵と近代化 - 地域とのつながり
- 4 18世庵主鈴木芳如の活躍

歴代庵主の作品（書画など）を展示します。



鳴立庵 現況

心なき身にも哀はしられけり 鳴立の 秋の夕暮
西行 『山家集』より

※掲載資料は、いずれも当館所蔵

